

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取東 高等学校

|      |         |     |                |
|------|---------|-----|----------------|
| 重点項目 | 英語教育重点校 | 提出日 | 令和 3 年 5 月 6 日 |
|------|---------|-----|----------------|

| 1 学校目標  |               |               |               |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
|---|---------------|---------------|---------------|-----------|----------|-----------------------------------|------------|-------------|-------------|-----------------------------------|---------------|---------------|---------------|---|--|--|-----------|-----------|----------|-----------------------------------|----|-----|-----|-----------------------------------|------|------|------|
| <p>さまざまな教育活動を通して、21世紀の鳥取そして日本を支える人材の育成に努める。</p> <p>1 自分の将来をはっきりと思い描き、その目標に向かって努力する主体性を育成する。</p> <p>2 社会のどこかを支える人間、一隅を照らす人に育てる。</p> <p>3 他者を思いやる優しさ（親和）、困難に立ち向かう逞しさ（克己）、探究しようとする積極性（進取）を育成する。</p>  |               |               |               |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| 2 重点項目に係る目標・成果  |               |               |               |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| 目標  |               | 成果            |               |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| <p>今後の大学入試で求められるであろう、スピーキングとリスニングを中心とした英語のコミュニケーション力を高めることはもとより、リーディングおよびライティングの力を育成し、英語の学力全般の向上を図る。授業・家庭学習を通して、多くの質の高いinputをどのように生徒に与え、授業内のoutput活動をいかに日常的に系統的に行うか、ということを経験的に研究・実践を行うことを目標とし、英語4技能の力を総合的に伸ばしていきたい。</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <p>GTEC(スピーキングを含む)で以下の数値を目標とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年<br/>12月</th> <th>2年<br/>12月</th> <th>3年<br/>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GTEC 960 以上<br/>【CEFR B1、英検<br/>2級】</td> <td>10人<br/>(5)</td> <td>20人<br/>(11)</td> <td>30人<br/>(19)</td> </tr> <tr> <td>GTEC 690 以上<br/>【CEFR A2、英検<br/>準2】</td> <td>220人<br/>(210)</td> <td>240人<br/>(230)</td> <td>250人<br/>(233)</td> </tr> </tbody> </table> <p>( )内の数字：1年生は平成30年度、2・3年生は令和元年度の実績</p> |               |               | 1年<br>12月     | 2年<br>12月 | 3年<br>8月 | GTEC 960 以上<br>【CEFR B1、英検<br>2級】 | 10人<br>(5) | 20人<br>(11) | 30人<br>(19) | GTEC 690 以上<br>【CEFR A2、英検<br>準2】 | 220人<br>(210) | 240人<br>(230) | 250人<br>(233) | <p>英語科の教員が、各々授業の中に、4技能の育成がバランスよく配置されるように、英語の授業を組み立て、実践にあたった。1年生は本校の課題である即興的なスピーキング力を向上させる取り組みを継続して行った。またディベート活動を通して自分の考えを発表した。2年生は、同様に即興性を高めるために、ディベート形式に入る前に、自由にディスカッションをするという取り組みを行った。3年生はポストリーディング活動として、スピーキングをしたり、エッセーライティングをしたりし、それらの活動が大学入試にも当然有益あることを意識して指導した。</p> <p>また下記数値結果から分かるように、特に3年生において課題であったCEFR B1以上の生徒の数で目標を大きく上回り一定の成果が見られた。1年生は少し苦戦したが、1年次のGTECの受験回数を2回から1回に減らしたことも要因として考えられ、今の活動を継続していけば数値も向上していくと思われる。</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年<br/>12月</th> <th>2年<br/>12月</th> <th>3年<br/>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GTEC 960 以上<br/>【CEFR B1、英<br/>検2級】</td> <td>0人</td> <td>16人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>GTEC 690 以上<br/>【CEFR A2、英<br/>検準2】</td> <td>111人</td> <td>270人</td> <td>270人</td> </tr> </tbody> </table> |  |  | 1年<br>12月 | 2年<br>12月 | 3年<br>8月 | GTEC 960 以上<br>【CEFR B1、英<br>検2級】 | 0人 | 16人 | 50人 | GTEC 690 以上<br>【CEFR A2、英<br>検準2】 | 111人 | 270人 | 270人 |
|   | 1年<br>12月     | 2年<br>12月     | 3年<br>8月      |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| GTEC 960 以上<br>【CEFR B1、英検<br>2級】   | 10人<br>(5)    | 20人<br>(11)   | 30人<br>(19)   |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| GTEC 690 以上<br>【CEFR A2、英検<br>準2】   | 220人<br>(210) | 240人<br>(230) | 250人<br>(233) |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
|   | 1年<br>12月     | 2年<br>12月     | 3年<br>8月      |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| GTEC 960 以上<br>【CEFR B1、英<br>検2級】   | 0人            | 16人           | 50人           |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |
| GTEC 690 以上<br>【CEFR A2、英<br>検準2】   | 111人          | 270人          | 270人          |           |          |                                   |            |             |             |                                   |               |               |               |   |  |  |           |           |          |                                   |    |     |     |                                   |      |      |      |

### 3 実施事業

#### 【高等学校課事業】

##### ○アクティブ・ラーニング推進のための講師派遣事業

###### ①テーマ「大学入試改革に伴う英語4技能育成のための指導法研究」

→新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった。

###### ②テーマ「4技能と思考力育成のための英語 output 活動の活用と評価」

→新型コロナウイルス感染拡大の影響で県外の講師を招いての事業はできなかったが、12月21日に県教育委員会より指導者を2名招き、授業公開、研究協議を県内高校に公開して行った。

###### ③ディベート活動を中心とする英語キャンプの実施

→①②同様県外の講師を招いての事業はできなかったが、1日のみの英語キャンプとして、公立鳥取環境大英語スタッフを招いての出張英語村体験や、中国の高校生とのオンラインでの文化交流を行った。

##### ○大学入試改革に向けた英語力向上対策事業

→上記②と同様

#### 【独自事業】

##### ○英語力養成事業

→各種研究大会やディベート大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんどが中止となり参加できなかった。

#### 【その他】

生徒の自発的な取り組みを促すことを目的として各学年で新たな取り組みを行った。1年生では「English Central 4技能学習 Navi ブック」(桐原書店)を導入し、自宅での音読活動を促すとともに、数多くある動画を生徒の興味に合わせて視聴するようにした。2年生では Google Classroom を活用し、生徒がオンライン上で提出した音読の音声を、教員が同様にオンラインでフィードバックをした。3年生では、「スマートレクチャーコレクション」(啓林館)を導入し、生徒のライティングを自発的に添削してもらい、より質の高いライティングができるよう促した。

### 4 総合所見 (成果・評価)

高等学校課事業、独自事業を通じて、生徒の英語に対する意欲は高まっていると感じる。

1.2年生に行った生徒アンケートでは、1年生から2年生にかけて「スピーキングが苦手である」と答えた生徒の割合が大きく減少し、自由記述の部分でも「自分の意見をすばやく英語にすることができるようになった。」と感じる生徒が明らかに増えていった。日々の授業の中でのスピーキングのパフォーマンステストであったり、ディベートの取り組みなど一定の効果を感じている。ただし、ディベートにおいて、事前に準備してきたものに依存し、即興で話すことを難しく感じていたり、自分の準備したものをしながらではないと不安になってしまう生徒が多くいることや、検定試験において、出題されたテーマによってスコアが上下するなど、その場で臨機応変に話すという点についての課題は残る。

ライティングにおいても、エッセーライティングなどの指導を通して、各々の授業担当者が感じる生徒の伸びは、ある程度存在する。ただし、GTEC などの検定試験において、CEFR A2 レベルならほとんどすべての生徒がクリアできるが、CEFR B1 を超える生徒の割合が思うように上がらなかった。これはスピーキングにおいても同様の傾向が見られた。今後は、より「論理的な」アウトプットができるようにしていくための活動を研究していくことが求められるであろう。

これらの点に注意しながら、引き続き生徒を指導していきたい。

※枚数任意